

教室担当講師のための AED 講習会

日 時 平成 28 年 1 月 17 日 (日) 13 時 30 分～15 時 00 分

会 場 熊 本 公 徳 会 武 道 場

現在、どこにでも設置してある AED。しかし手にとってみたこともなければ、中身がどのような構造になっているかも知らない人が大多数ではないかと思われます。

支部では今回初めての試みとして講習会を開催。教室担当講師、ボランティア講師 52 名が参加しました。

熊本市消防局緊急消防隊より 5 名の精鋭の隊員、なかには国際消防救助隊員も 3 名含まれている錚々たるメンバーによる 30 分の講義と 1 時間の実技講習が行われました。



牟田支部長挨拶



進行の上田副支部長

心肺蘇生の応急処置（胸骨圧迫・心臓マッサージ） 予防がすべてにおいて一番大切

- ・運転中・・・シートベルトをする
- ・食事・・・しっかり噛む
- ・孫・・・マッチ、ライターは置かない
- ・体調・・・病院を受診する



精鋭の救急消防隊員

119 番のかけ方

固定電話・・・住所が司令室より辿れる

携帯電話・・・住所をはっきり言う。情報収集が現場で早くできる。

救急車は平均 7 分で到着する。



高齢者も頑張っています



真剣な荒木本部理事



心臓マッサージの方法を説明する隊員

※講習を受けてみて初めて理解できたことは、AED だけでは人は助けられない。



AED 装着の仕方の説明を受ける講師

救急車が到着するまでの応急処置が大切な命を守る

1. 反応の確認（声を掛け反応を見る）
2. 呼吸の確認（お腹が上下運動をしているか）
3. 胸骨圧迫（指を組んで胸の真ん中を真上から 1 分間に 100 回押す）
（強く、速く、絶え間なく押す・・・心臓が血液の中の酸素を送り出す）
4. AED を装着する

このような講習会に数多く参加して様々な知識を積み重ねることによって、少しは救急処置に対処できるのではと感じた参加者も多かったのではないのでしょうか。

今回参加された教室講師の皆様、大変お疲れ様でした。

講習会終了後は、支部大会の講師演舞の練習をしました。